

第6回 奈良市「持続可能な観光」検討懇話会

開催日時	令和6年8月30日（金）午後2時から午後4時まで	
開催場所	奈良市役所北棟2階 202会議室	
参加者	青木 真郎 [(一社) サステナビリティ・コーディネーター協会] 澤柳 正子 [(株) リクルート ジャらんリサーチセンター] 下谷 幸司 [奈良市旅館・ホテル組合] 高橋 一 [(公社) 奈良市観光協会] 原田 隆太 [奈良ホテル] 二神 真美 [名城大学] 溝口 シェリー [JW マリオット・ホテル奈良] 大和 里美 [大阪経済大学]	
担当課	観光経済部観光戦略課	
開催形態	非公開	(非公開の理由) 情報公開条例第7条第3号
		具体的な非公開の理由等 企業の経営等に関わる情報もあることから、公にすることにより利益を害する可能性があるため。また、率直な意見交換が妨げられる可能性があるため。
意見を求める内容	持続可能な観光地の実現のための具体的な取組と今後の展開について	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランとしてはよくまとまっているが、効果を上げるためには、観光関連事業者等の個別の事情等を考慮しながら、取り組んでいく必要がある。 ・観光関連事業者にとって、サステナブルな取組がどれぐらいコストダウンにつながっているかは把握しづらいところもあるので、そのような取組がどれぐらい経営に役立つのかを勉強会等で共有すれば、事業者の理解も得られるのではないかと。 ・宿泊客だけでなく、日帰り客に対しても並行して、サステナブルな取組の啓蒙活動や施策を行う必要がある。 ・奈良市が先進的に取り組んでいること自体が評価されて、観光資源の一つにもなるので、この懇話会で終わるのではなく、行政、観光協会、観光関連事業者等が継続して活動していく必要がある。 ・アクションプランを作って、アクションするだけでなく、フォローアップしていくことが重要。実際にアクションを進めるには、タイムスケジュールが必要。 ・省エネを上手く進めている宿泊施設の具体的な取組を水平展開してもらえると、宿泊事業者全体のメリットにつながる。 ・新しい価値観や奈良らしさという観点からそれぞれのアクションをつなげることで、持続可能な取組になる。 ・市民や観光関連事業者に一体感をもてるような伝え方をして、いかに取組に巻き込んでいくかが重要。 	

※50音順、敬称略